



農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた 全国シンポジウム

主催：全国水土里ネット（全国土地改良事業団体連合会）

1. 開催日：令和5年12月6日（水）～12月7日（木）

2. 会場：東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館1階
（東京メトロ永田町駅4番出口 徒歩1分）、Web併用



3. 対象者：①一般の方、②地域資源の保全活動に携わっている方（多面的機能支払の活動組織や推進組織、都道府県、市町村、土地改良区等の関係者）、
③ふるさと・水と土指導員、④地域資源の保全活動に関心がある企業関係者等

持続的な地域づくりに向けた農村RMOの取組や、教育機関など地域内外の関係者との連携、農業遺産や地域資源を活用した地域活性化等について知見を深め、多面的機能支払に係る活動や、活動への理解の促進を図ります。会場には地域資源の保全・活用に有益な技術を有する企業のブースを併設します（継続教育プログラム（CPD）申請予定）。

シンポジウム 第1部 令和5年12月6日 13:30開会（受付12:30～）

参加無料

※事前申込が必要です。

13:40～14:20 講演「地域に消えない火を灯せ」～住民のやる気を引き出す力～
高橋 信博 氏（山形県農村づくりプロデューサー）

14:20～15:00 講演「嫁に来たくなる里づくり」
村田 正明 氏（鉈打ふるさとづくり協議会事務局長）

15:20～16:00 講演「大崎耕土の巧みな水管理と、持続可能な水田農業」
安部 祐輝 氏（大崎市産業経済部世界農業遺産推進監）

16:00～16:30 講演「事務処理の効率化を通じた事業推進について」
矢野 成美 氏（島根県土地改良事業団体連合会水土里推進グループ技師）
深田 留美子 氏（島根県土地改良事業団体連合会水土里推進グループ多面的機能支払相談員）



情報交換会 令和5年12月6日 17:30開会

有料

※事前申込が必要です。

会場：東京都千代田区永田町2-16-2 星陵会館4階多目的ホール 会費：6,000円/人 立食形式

シンポジウム 第2部 令和5年12月7日 09:00開会（受付08:15～）

参加無料

※事前申込が必要です。

09:00～09:40 講演「地域の教育機関との連携事例」
崎原 栄志 氏（糸満市地域農地・水・環境保管理協定運営委員会）
玉城 佑一 氏（糸満市経済部農村整備課副主査）

09:40～10:20 講演「高校生と連携した農村を守る活動」
富沢 邦義 氏（美野原広域協定）
松井 克彦 氏（群馬県立吾妻中央高等学校環境工学科実習教員）
群馬県立吾妻中央高等学校農業クラブ代表生徒

10:35～12:00 パネルディスカッション「農業・農村を次世代に引き継いでいくために
～多面的機能支払の活動組織と教育機関へ期待される役割～」
コーディネーター：榊田 みどり 氏（明治大学客員教授、ジャーナリスト）
パネラー：中里 良一 氏（(一財)日本グラウンドワーク協会理事長）、松井 克彦 氏、
玉城 佑一 氏、栗田 徹 氏（農林水産省農地資源課多面的機能支払推進室長）



申込方法：

- 一般の方 又は 地域資源の保全活動に関心がある企業関係者等の方
下記参加申込みURLにアクセスするか、QRコードを読み込んでいただき、必要事項を記入して送信願います。参加申込みURL：<https://www.inakajin.or.jp/works/research>
- 地域資源の保全活動に携わっている方（上記対象者②）
貴都道府県の多面的機能支払の推進組織（推進協議会等）に参加申込書※1を提出願います。
- ふるさと・水と土指導員の方
お住まいの地域の都道府県庁に参加申込書※1を提出願います。

※1 参加申込書は、推進組織、土地改良事業団体連合会又は都道府県庁から配布予定です。

※2 希望者多数の場合、申込み受付を締め切らせていただくことがあります（会場350名程度、Web500回線を予定）。



問合せ先：全国土地改良事業団体連合会 土地改良研究所企画研究部 TEL03-3234-5480 FAX03-3234-5670
（本シンポジウムは、農林水産省補助事業（令和5年度農山漁村振興交付金）により実施するものです。）

事務連絡
令和5年9月26日

全国水土里ネット多面的機能支払促進協議会 会員各位

全国土地改良事業団体連合会
土地改良研究所企画研究部

**農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム等について
(開催案内)**

平素より、多面的機能支払交付金（以下「多面支払」という。）に係る業務の推進にご尽力いただいております。感謝申し上げます。

さて、当会は、農林水産省補助事業の実施団体となり、多面支払について、全国シンポジウム等を開催することとなりました。

つきましては、下記Ⅲにそれぞれの会議内容を記載しておりますので、会員各位におかれましては、下記Ⅴに表記されている各管内の参加者への周知を行っていただきますようお願い申し上げます。

I 全体の概要

1. 開催日時 令和5年12月6日（水）～7日（木）
2. 開催場所 砂防会館別館

3. 会議の構成（3部構成とします）

会議名	開催日時	対象者
農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム（第1部）	令和5年12月6日（水） 13:30～16:30	①一般の方々、②地域資源の保全活動に携わっている方（多面支払の活動組織、推進組織、都道府県、市町村、土地改良区等の関係者）③ふるさと・水と土指導員④地域資源の保全活動に関心がある企業関係者 等
農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム（第2部）	令和5年12月7日（木） 9:00～12:00	①一般の方々、②地域資源の保全活動に携わっている方（多面支払の活動組織、推進組織、都道府県、市町村、土地改良区等の関係者）③ふるさと・水と土指導員④地域資源の保全活動に関心がある企業関係者 等
多面的機能支払活動の推進に係る担当者意見交換会（第3部）	令和5年12月7日（木） 13:30～16:20	①多面的機能支払の都道府県・市町村レベルの推進組織の関係者 等

II 農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム（第1・2部）

1. 開催方針

(1) 対象者

一般の方、地域資源の保全活動に携わっている方（多面支払の活動組織や推進組織、都道府県、市町村、土地改良区等の関係者）、ふるさと・水と土指導員、地域資源の保全・活用に関心がある企業関係者 等

(2) 趣旨等

人口減少が進む中、農業・農村の持続性確保は SDGs への観点からも重要な課題であり、そのためには、農地・農業用水等の地域資源の保全を図る多面支払による活動が継続的に実施されることが必要です。

そこで、本シンポジウムでは、外部人材や多様な主体との連携を通じて、地域コミュニティの強化や人材育成を図っている事例等について情報共有を行い、多面支払による活動の促進や活動組織の体制強化に向けた気付きを得る機会とします。

また、地域の特色を生かしつつ地域資源の保全等を行っている事例として、農業遺産地域や棚田地域における取組についても紹介します。

併せて、会場には地域資源の保全・活用に有益な技術を有する企業のブースを設置します。

※企業ブースは2日目の午前中（第2部終了）まで設置します。

2. 会場

砂防会館別館1階（利根大会議室）※Web配信も併用。

3. 内容

(1) 令和5年12月6日(水)（第1部）

13:30 開会(主催者挨拶) 全国土地改良団体連合会 専務理事 室本 隆司

13:35 来賓挨拶 農林水産省農村振興局整備部農地資源課長 荻野 憲一 氏

13:40～14:20 講演①「地域に消えない火を灯せ」～住民のやる気を引き出す力～

※講師：山形県農村づくりプロデューサー 高橋 信博 氏

※内容：全国1,000件以上の地域と関わった経験から導き出された、住民の心に「やる気」という火を灯し、地域が動き出したくなるポイントと、それを支援するプロデューサー養成の取組について紹介いただきます。

14:20～15:00 講演②「嫁に来たくなる里づくり」

※講師：鉾打ふるさとづくり協議会 事務局長 村田 正明 氏

※内容：水田の再整備を契機とし、移住者や関係人口も参画した地域づくりを進め、農村RMO及び「デジ活」中山間地域とし

て地域資源のブランド化や買い物支援など多角的な取組を行っている事例や多面支払等を活用した地域資源保全活動について紹介いただきます。

15:10～15:30 休憩

15:20～16:00 講演③「大崎耕土の巧みな水管理と、持続可能な水田農業」

※講師：大崎市産業経済部 世界農業遺産推進監 安部 祐輝 氏

※内容：世界農業遺産「大崎耕土」の資源を守り活かす取組や、SDGs 目標を連動させた取組、また地域特性を活かし、環境に配慮した持続可能な農業生産と多様な地域づくりについて紹介いただきます。

16:00～16:30 講演④「事務処理の効率化を通じた事業推進について」

※講師：島根県土地改良事業団体連合会 水土里推進グループ

技師 矢野 成美 氏

多面的機能支払相談 深田 留美子 氏

※内容：活動組織・市町村職員・推進組織が共通のデータ管理を行い、事務処理を効率的に実施し、組織等の相談に応じている事例について紹介いただきます。

(2) 令和5年12月7日(木) (第2部)

9:00～9:40 講演⑤「地域の教育機関との連携事例」

※講師：糸満市地域農地・水・環境保全管理協定運営委員会

崎原 栄志 氏

糸満市経済部農村整備課 副主査 玉城 佑一 氏

※内容：小学校や大学との連携による多面的機能支払活動の取組状況や経緯、農業・農村についての理解を広めるための取組について紹介いただきます。

9:40～10:20 講演⑥「高校生と連携した農村を守る活動」

※講師：美野原広域協定 富沢 邦義 氏

群馬県立吾妻中央高等学校 環境工学科

実習教員 松井 克彦 氏

農業クラブ 代表生徒

※内容：吾妻中央高校の農業クラブの活動と、美野原広域協定活動組織と連携して地域資源の保全を進めている取組について紹介いただきます。

10:20～10:35 休憩

10:35～12:00 パネルディスカッション「農業・農村を次世代に引き継いでいくために（多面的機能支払の活動組織と教育機関へ期待される役割）」

【コーディネーター】

榑田 みどり 氏（明治大学 客員教授、ジャーナリスト）

【パネリスト】

中里 良一 氏（（一財）日本グラウンドワーク協会 理事長）

松井 克彦 氏（群馬県立吾妻中央高等学校環境工学科 実習教員）

玉城 佑一 氏（糸満市経済部農村整備課 副主査）

栗田 徹 氏（農林水産省農地資源課多面的機能支払推進室長）

4. 企業ブース リモコン草刈機や防草シート、コンクリート水路補修材などを展示し、地域資源の保全・活用に有益な技術の紹介を行います。

Ⅲ 多面的機能支払活動の推進に係る担当者意見交換会（第3部）

1. 開催方針

(1) 対象者

多面的機能支払の都道府県・市町村レベルの推進組織の関係者

(2) 趣旨等

各都道府県や地域の抱える課題について、活動を推進する立場にある担当者間で意見交換を行い、相互に有益な知見の共有等を図ります。

2. 会場 砂防会館別館3階会議室「穂高」※Web配信も併用。

3. 内容

令和5年12月7日(木)

13:30 開会(冒頭挨拶) 全国土地改良事業団体連合会 土地改良研究所長 三木 秀一

13:35 来賓挨拶 農林水産省 多面的機能支払推進室長 栗田 徹 氏

13:40～14:00 講演 テーマ「推進組織向けアンケートの結果(仮)」
※発表者は全土連。

14:00～14:40 講演 テーマ「特色ある取組について(仮)」
課題克服等に向けて特色のある取組を行っている都道府県推進組織の方に事例発表してもらいます。※発表者は調整中。

14:40～14:50 休憩

14:50～16:20 意見交換会

- ・ 都道府県推進組織の担当者同士で意見交換会を実施してもらうことを想定しています。

IV 申込方法について

別添の参加申込書に必要事項をご記入いただき、令和5年10月末を目処に貴都道府県の多面支払の推進組織まで送付いただきますようお願いいたします。

V 作業依頼について

- 別添の参加申込書、開催チラシを下表②及び④の対象者に可能な範囲で送付いただき、上記書類及び別添の都道府県推進組織宛ての開催案内文書を貴都道府県における多面支払の推進組織に送付いただきますようお願いいたします。
- 下表④の方々については、本会ホームページからのお申し込みになります。
- 参加対象者ごとの作業内容については下表を参照願います。

対象区分	開催案内(周知)	参加取りまとめ	Web参加者への資料のメール転送
①一般の方々	×	×	×
②地域資源の保全活動に携わっている方(多面支払の活動組織、推進組織、都道府県、市町村、土地改良区等の関係者)	○(可能な範囲で)	×	×
③ふるさと・水と土指導員	×	×	×
④地域資源の保全・活用に関心がある企業関係者	○(可能な範囲で)	×	×

VI その他

- 本シンポジウムは、多面支払の事務・組織運営等に関する研修(多面的機能支払交付金実施要領令和5年4月1日1部改正)に該当いたします。
- 本シンポジウムは、CPD(技術者継続教育機構)の認定プログラムの申請を予定しています。
- 本シンポジウムについて、本会ホームページにも記載しておりますので、下記URLよりご覧ください。

<https://www.inakajin.or.jp/works/research>

担当 全国水土里ネット
企画研究部 TEL:03-3234-5480
吉山 (k_yoshiyama@inakajin.or.jp)

